

令和2年度 公社等経営評価シート
(対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

概	名称	一般財団法人宮崎県公衆衛生センター		所在地	宮崎市霧島1丁目1番地2	
	電話番号	0985-24-7400		ホームページ	http://www.miyazaki-wflabo.org	
	設立年月日	昭和43年6月6日	代表者	理事長 長友 重俊	県所管部・課	福祉保健部衛生管理課
	総出資額	6,000 千円		県出資額	0 千円	県出資比率
要	設立目的	飲食物及び飲用水等の衛生に関わる検査並びに動物管理業務に関わる業務を行い、もって公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。				
	特記事項	①水道法に基づく水質検査業務、貯水槽水道検査業務に係わる厚生労働大臣登録検査機関 ②食品衛生法に基づく厚生労働大臣登録検査機関				

内容		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
改革工程	①公社等のあり方見直し	前年度に引き続き、本県公衆衛生を担う検査機関としての組織意義を見直し、県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるよう取り組んだ。	前年度に引き続き、本県公衆衛生を担う検査機関としての組織意義を見直し、県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるよう取り組んだ。	前年度に引き続き、本県公衆衛生を担う検査機関としての組織意義を見直し、県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるよう取り組む。	
	②公社等の経営見直し	前年度に引き続き、公益目的支出計画に沿った事業運営	前年度に引き続き、公益目的支出計画達成に向けた事業運営に引き続き努力した。	公益目的支出計画は前年度で完了したが、引き続き適正な事業運営に努めた。	
	経営・事業運営改善	適正価格での入札取組、経費節約取組	前年度に引き続き、安定収入の確保と収支バランスの改善に引き続き取り組んだ。	前年度に引き続き、安定収入の確保と収支バランスの改善に引き続き取り組んだ。	前年度に引き続き、安定収入の確保と収支バランスの改善に引き続き取り組む。
	財務改善	検査員の配置替え 動物管理業務の正規職員退職後の非常勤職員への転換	前年度に引き続き、検査員の配置替えによる代替性確保と技術の向上を図った。また動物管理業務の補充は、非常勤職員への転換を進めた。	前年度に引き続き、検査員の配置替えによる代替性確保と技術の向上を図る。また動物管理業務の補充は、非常勤職員への転換を進めた。	前年度に引き続き、検査員の配置替えによる代替性確保と技術の向上を図る。また動物管理業務の補充は、非常勤職員への転換を進める。
直し	③人の支援 の県と の係 見直し	事業の効率的な運営による予算の削減	事業の効率的な運営と予算削減に引き続き努めた。	事業の効率的な運営と予算削減に引き続き努めた。	
	財政支出 見直し	事業の効率的な運営による予算の削減	事業の効率的な運営と予算削減に引き続き努めた。	事業の効率的な運営と予算削減に引き続き努める。	
④情報公開推進	ホームページ等での情報公開	前年度に引き続き、情報公開に努めた。	前年度に引き続き、情報公開に努めた。	前年度に引き続き、情報公開に努める。	

	(人)	令和元年度				令和2年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	8	1	5	2	8	1	5	2
	常勤	4	0	4	0	4	0	4	0
	非常勤	4	1	1	2	4	1	1	2
	職員数	21	0	2	19	22	0	2	20
財 政 支 出 等	(千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	県委託料	122,153	115,327	123,640	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等									

主な 県 財 政 支 出 の 内 容	事業名	事業内容	令和元年度	令和2年度	種別	
			決算額(千円)	予算額(千円)		
①	犬の捕獲抑留業務等補助業務	動物管理業務	104,106	101,051	委託料	
	②	食品衛生検査業務	食品の細菌検査・理化学検査業務	16,740	16,976	委託料
	③	動物愛護センター犬・猫譲渡等推進事業業務委託	負傷動物の治療及び健康診断業務・動物愛護センターの獣医師に対し治療等に関する実地指導業務・動物愛護センター等での犬猫の躰の巡回指導業務・動物愛護指導センター等での譲渡会における運営補助業務・動物愛護啓発行事に係る運営補助業務	2,794	2,811	委託料

実施事業	①水質検査 ③貯水槽検査	②食品検査(理化学検査、細菌検査) ④動物管理事業(犬の捕獲抑留等業務)					
活動指標	指標名	算式(単位)	令和元年度			令和2年度	令和3年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	① 水質検査実績状況	水質検査収益(千円)	65,000	73,855	113.6%	73,000	75,000
	② 食品検査実績状況	食品検査収益(千円)	53,161	54,944	103.4%	55,000	55,000
	③ 動物管理委託事業実績	委託料(千円)	105,889	106,901	101.0%	101,752	100,000
指標の設定に関する留意事項							

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)				貸借対照表 (千円)			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	経常収益	244,621	239,974	250,666	資産	185,923	160,829	167,995
	経常費用	244,320	245,743	256,983	流動資産	78,862	45,177	63,629
	当期経常増減額	301	-5,769	-6,316	固定資産	107,061	115,652	104,366
	経常外収益	45,457	540	0	負債	80,664	60,879	74,432
	経常外費用	45,457	9	0	流動負債	25,495	13,697	31,311
	当期経常外増減額	0	531	0	固定負債	55,169	47,182	43,122
	税引前当期一般正味財産増減額	301	-5,238	-6,316	正味財産	105,259	99,950	93,563
	法人税・住民税及び事業税	36	71	71	指定正味財産	1,000	1,000	1,000
	当期一般正味財産増減額	265	-5,309	-6,387	(うち基本財産への充当額)	1,000	1,000	1,000
	一般正味財産期首残高	103,944	104,259	99,950	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	一般正味財産期末残高	104,259	98,950	93,563	一般正味財産	104,259	98,950	92,563
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	5,000	5,000	5,000
指定正味財産期首残高	1,000	1,000	0	(うち特定資産への充当額)	32,007	32,007	32,007	
指定正味財産期末残高	1,000	1,000	0					
正味財産期末残高	105,259	99,950	93,563					

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式(単位)	令和元年度			令和2年度	令和3年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	① 人件費率	人件費/経常費用×100(%)	64.0	62.6	102.2%	64.0	64.0
		令和元年度 実績値の算式	160,970千円/256,983千円×100				
② 管理比率	管理費/経常費用×100(%)	1.0	0.9	110.0%	1.0	1.0	
	令和元年度 実績値の算式	2,279千円/256,983千円×100					
③							
指標の設定に関する留意事項							

直近の県監査の状況	令和元年度に行われた包括外部監査において、外部監査委員より「委託業務費に含まれる人件費の内容」について意見が出され、今後検討していくこととしている。
-----------	--

総合評価	公社等自己評価	一般財団法人へ移行して8年が経過したが、経営環境はより一層厳しい状況となっている。このような状況の中で、収益面では令和元年度は積極的な営業活動を行ったことなどにより、水質検査事業、食品検査事業ともに前年度実績を大きく上回る収益を確保することができた。今後も検査技術の維持向上と信頼性の確保を図りつつ、経営の安定化に取り組み、動物管理の受託事業を含め県民の信頼に十分応えられるよう、各事業を推進していく。				県所管部課二次評価	主要事業である水質検査事業では、県内外業者との価格競争などの影響を受けて厳しい経営環境が続く状況である。他事業においても新しい顧客層の拡大とともに、相談業務の充実など顧客満足度の更なる向上に努め、積極的に経営の安定化を図る必要がある。			
	評価(A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価(A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		A	A	B	A		B	A	B	A
目標達成度						公社等改革推進委員会三次評価	<p>活動内容については、県から受託した動物管理業務、食品検査業務を適切に実施しており、また、競争が激化している水質検査業務の実績も目標を達成しており、評価できる。</p> <p>財務内容については、いずれの指標も目標を達成し、前年度を上回る収入が確保できていることから、一定の評価ができる。しかし、機器の更新等により2期連続で経常赤字となっていることから、収支改善の取組の強化が求められる。</p> <p>引き続き、公衆衛生を担う検査機関として多様な需要に応えるとともに、事業の効率的な運用等により経営の安定化を図り、本県の公衆衛生の向上に寄与していくことが求められる。</p>			